

事務事業名	雨水浸水対策事業	担当	上下水道部 下水道課 工務係	
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	6	防災体制の整備
成果指標	名称	単位	4 年度実績	
	整備面積	ha	3.84	
	管渠延長	m	152.2	
	整備率	%	61.1	
事業概要	近年、各地で自然災害が相次いで発生し、大きな被害を受けている中、市民の生命、身体、財産を守るため、災害対策の再認識や防災体制の強化に取り組んでいる。雨水整備については、市街地の浸水を防ぐため、昭和48年1月に事業認可を得て、行屋第1排水区の140haに着手し、以降順次整備を行っている。雨水の事業計画面積は1,324.1haで、令和4年度末では809.0haが整備され、整備率は61.1%となっている。			
4 年度実績・成果・課題	実績 *線越 雨水函渠工事(L=152.2m)熊倉町地区 課題 浸水が懸念される箇所(未整備箇所・旧基準整備箇所)での下水道による浸水対策について、地形的要件や関連施設の整備状況を踏まえ、降雨時の状況を注視しながら施設整備の必要性を判断し、当面・中長期の整備方針を定め、水災害に強いまちづくりの実現を図る。			
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 【具体的な改善案】 雨水排水施設の整備に加え、台風や集中豪雨で市街地の側溝や管渠を流れる雨水(内水)が氾濫した際の浸水想定区域や避難方法などの情報を示し、避難時や日頃からできる対策に役立ててもらうため、内水ハザードマップを令和7年度を目途に作成する。			